

PRESS RELEASE



アサヒビール

大山崎山荘美術館

ASAHI BEER OYAMAZAKI VILLA MUSEUM OF ART

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 TEL 075-957-2364

企画展「こわくて、たのしいスイスの絵本」 開催のお知らせ

アサヒビール大山崎山荘美術館（所在地 京都府乙訓郡大山崎町 館長 おにつか じゅんいちろう 鬼塚 潤一郎）は、2022年9月17日（土）から12月25日（日）まで、企画展「こわくて、たのしいスイスの絵本」を開催いたします。

ベルンに生まれたエルンスト・クライドルフ（1863-1956）は、アルプスの草花を擬人化した『花のメルヘン』をはじめ、数々の絵本を手がけ、絵本文化が花ひらいた当時のヨーロッパで、その先駆けのひとりとなりました。ハンス・フィッシャー（1909-1958）は、勢いのある線を重ねて絵を描き、『ブレーメンのおんがくたい』や、『こねこのびっち』などを発表し、人気を博します。フェリックス・ホフマン（1911-1975）がわが子へ贈るために手作りした『おおかみと七ひきのこやぎ』は、日本でも長く愛される絵本となっています。また、『スイスの伝説』ではユーモアあふれる挿絵も描きました。

草花や風俗、地方の伝説などを通じ、スイスらしさをそれぞれに表現した彼らが手がけた絵本や挿絵には、楽しそうに見えてもじつはこわい場面や、こわそうに見えても楽しい場面が描かれています。

当館の本館である大山崎山荘を建てた加賀正太郎は、スイスの名峰ユングフラウに登頂した初めての日本人として山岳史に名をのこしています。加賀は山を愛し、自然をいつくしみました。この大山崎とスイスの交流を記念して、長野県にある小さな絵本美術館協力のもと、3作家の原画やリトグラフ、手描き絵本など約70点をご紹介します。すこしこわいけれど、楽しいスイスの絵本の世界をお楽しみください。

【本展に関するお問い合わせ先】

アサヒビール大山崎山荘美術館 TEL 075-957-2364 FAX 075-957-3126

広報担当： いけだ けいこ おにつか じゅんいちろう 池田 恵子 鬼塚 潤一郎 担当学芸員：かわい ゆうき 川井 遊木

【開催要項】

展覧会名 : こわくて、たのしいスイスの絵本

会 期 : 2022年9月17日(土)-12月25日(日)

休 館 日 : 月曜(ただし、9月19日、10月10日、11月21日・28日は開館)、9月20日、10月11日

開館時間 : 10:00-17:00(最終入館 16:30)

会 場 : アサヒビール大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3

JR山崎駅、または阪急大山崎駅より徒歩約10分

TEL:075-957-3123(総合案内)

<https://www.asahibeer-oyamazaki.com>

主 催 : アサヒビール大山崎山荘美術館

協 力 : 一般財団法人小さな絵本美術館

企画協力 : 神戸新聞社

後 援 : 京都府、大山崎町、大山崎町教育委員会、京都新聞、読売新聞京都総局

朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、産経新聞社京都総局、エフエム京都

入 館 料 : 一般900円(800円)、高大生500円(400円)

中学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方300円

※()内は 20名以上の団体の場合

作品点数 : 約70点

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、掲載内容が変更となる場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください

【会期中のイベント】

蓮沼昌宏ワークショップ 「大山崎山荘の小さな絵本づくり」 and DOMANI@京都

日 時 : 11月5日(土) / 6日(日) 各日13:30-15:30

内 容 : 築100年を超える大山崎山荘(美術館本館)を探検して、小さなモチーフやお話の種を探します。その後、ひとりひとりの絵本原画を制作・発表します。

絵本は後日、庭園内レストハウスに展示いたします。

対 象 : 小学生(要保護者同伴) 定 員 : 各日8名、要申込(先着順)

参加費 : 無料 会 場 : 当館本館及び庭園内レストハウス

※ワークショップ中、保護者の方は美術館・庭園内でお過ごしください

※保護者1名様まで入館無料

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 JR山崎駅、または阪急大山崎駅より徒歩約10分

TEL:075-957-3123 (総合案内) <https://www.asahibeer-oyamazaki.com>

講 師 : 蓮沼昌宏



美術家。1981年東京都生まれ。近年の活動に2021年個展「特別的にできないファンタジー」KAVC(兵庫)、「奥能登国際芸術祭2020+」木ノ浦ビレッジ(石川)、2020年個展「物語の、準備に、備える。」富山県美術館(富山)、2019年「第21回 DOMANI・明日展」国立新美術館(東京)、2017年「DOMANI・明日展 plus」千代田区立日比谷図書文化館(東京)、2016年文化庁新進芸術家海外研修員(ドイツ、フランクフルト)がある。現在、長野県を拠点に活動。

申込方法 : 返信可能なFAXまたは往復はがきでお申し込みください

【宛先】(FAX)075-957-3126 (往復はがき)〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3

アサヒビール大山崎山荘美術館 イベント係宛

【記載事項】①希望日 ②参加者氏名と学年、保護者氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤FAX番号

※申込は1回につき2名様まで

※往復はがきの場合は10月25日(火)必着

※電話・メールによる受付はいたしません

※定員に達し次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします

※イベント開催の有無等につきましては、決定次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします

主 催 : 文化庁、アサヒビール大山崎山荘美術館

文化庁の「新進芸術家海外研修制度【在研】」は、将来の日本の文化振興を担い、国際的に活躍する人材を育成することを目的に1967年に始まりました。美術、音楽、舞踊、演劇、映画、舞台美術等、メディア芸術へ対象を拡大し、美術分野ではこれまでに1,400名を超える作家を支援してきました。そうした研修の成果発表の場である「DOMANI・明日展」は東京の国立新美術館において、この秋、25回目を開催します。「and DOMANI」という名のこのワークショップは、「DOMANI・明日展」とのコラボレーション企画です。

文化庁新進芸術家海外研修制度

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu>

DOMANI・明日展2022-23 <https://domani-ten.com>



【カフェ企画】

内 容 : リーガロイヤルホテル京都が本展のために考案した「お菓子の家」をイメージしたチョコといちごのケーキと、スイスの伝統菓子「エンガディナー」の2種を提供いたします。

期 間 : 展覧会会期中

会 場 : 当館喫茶室

協 力 : リーガロイヤルホテル京都

チョコといちごのケーキ

『ヘンゼルとグレーテル』に登場する、「お菓子の家」をイメージしたスイーツです。

チョコレートクリームとココアのスポンジ、そして苺風味のパウンドケーキの2層でできたお家です。屋根と扉は、軽い食感のサブレ生地、屋根のてっぺんはバニラ風味のバタークリームで飾られています。



スイスの伝統菓子 エンガディナー

スイス南東、美しい山々に囲まれたエンガディン地方で生まれたスイーツです。

香ばしいくみにキャラメル味のヌガーをたっぷり絡ませて、クッキー生地で包み込んで焼きあげました。キャラメルのやさしい甘さと、トッピングにあしらったドライクランベリー酸味によるハーモニーをお楽しみください。



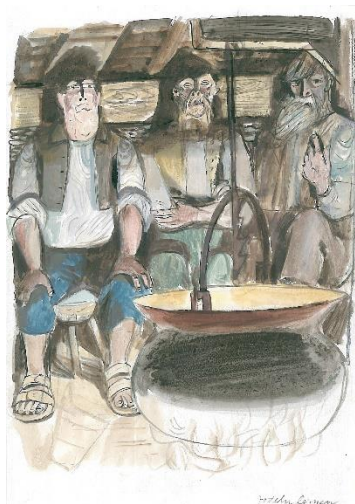
企画展「こわくて、たのしいスイスの絵本」
広報用提供画像

①



フェリックス・ホフマン
『おおかみと七ひきのこやぎ』
《こやぎたちドアをあける》1957年
©Felix Hoffmann 小さな絵本美術館蔵

②



フェリックス・ホフマン
『スイスの伝説』
《小僧がどうやってヨーデルを習ったか》
1971年
©Felix Hoffmann 小さな絵本美術館蔵

③



エルンスト・クライドルフ
『花を棲みかに（春の使い）』
《ママ母さん》1926年
小さな絵本美術館蔵

④



ハンス・フィッシャー
『ブレーメンのおんがくたい』
《動物たち騒ぐ》1940年頃
©Hans Fischer 小さな絵本美術館蔵

⑤



ハンス・フィッシャー
『こねこのびっち』
《扉》1948年
©Hans Fischer 小さな絵本美術館蔵

アサヒビール大山崎山荘美術館

企画展「こわくて、たのしいスイスの絵本」 広報担当（鬼塚・池田）宛

FAX：075-957-3126

本展示会の紹介記事掲載に際し、作品画像データと読者プレゼント用招待券をご用意しております。

ご希望の方は下記用紙に必要事項をご記入のうえ、弊館まで FAX でお申し込みください。

お申込内容確認後、広報担当者よりご連絡いたします。

《お願い》

- ①画像データは申請目的に限ってご使用ください
- ②掲載前に内容確認をいたしたく、原稿もしくは校正の段階で弊館広報担当者までお送りください
- ③お手数おかけいたしますが、後日掲載紙・誌、録画メディア等を2部、弊館広報担当者までお送りください

作品画像データ および 読者プレゼント用招待券 申込書 申込日： 年 月 日

◆ 画像データ 希望作品番号を○印で指定 (前頁画像より選択)	① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤
◆ 掲載媒体について * 企画書等、掲載媒体の概要資料があれば添付してください	
媒体名	発行日もしくは公開日
著者(编者)名	部数 予価
◆ 発行元/公開元について	
社名・組織名	担当者名
住所	〒
TEL / FAX	TEL : FAX :
メールアドレス	
◆ 編集について * 発行・公開元と同じ場合は「同上」と記載してください	
社名・組織名	担当者名
住所	〒
TEL / FAX	TEL : FAX :
メールアドレス	
◆ 読者用招待券 希望枚数	組 名 (*5組10名様分まで)

以下企画展担当用

媒体区分	<input type="checkbox"/> 新聞	<input type="checkbox"/> 雑誌	<input type="checkbox"/> WEB	<input type="checkbox"/> TV	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> フリーペーパー等	<input type="checkbox"/> その他
取材	有・無	取材日:	年 月 日	<input type="checkbox"/> 取材報告完了			
読者プレゼント	有・無	発送日:	年 月 日	<input type="checkbox"/> 完了			
画像提供	有・無	送付日:	年 月 日	<input type="checkbox"/> 完了			